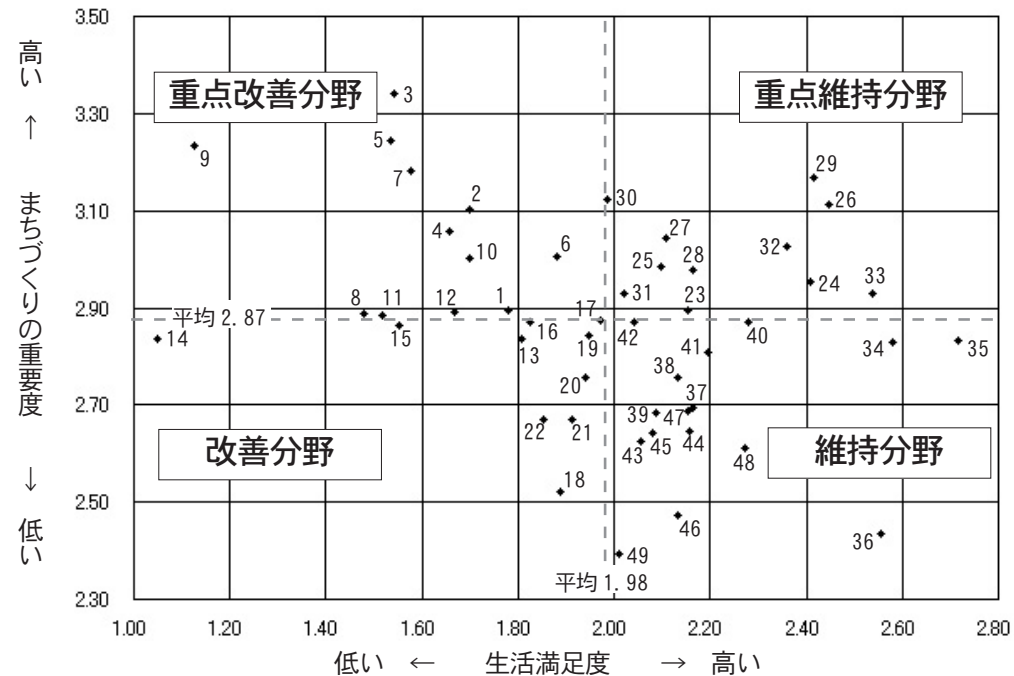


▶生活満足度とまちづくりの重要度◀

市の49項目の施策に対して「満足度」と「重要度」をそれぞれ5段階で評価していただき、「満足度」と「重要度」を数値化することによって、項目ごとに平均値と比較しています。

生活満足度とまちづくりの重要度の相関図



重点改善分野

生活満足度は低く、まちづくりの重要度は高い

1	公共交通機関
2	交通安全設備
3	医療体制・医療サービス
4	障害者（児）が安心して暮らせる環境
5	高齢者（老後）が安心して暮らせる環境
6	地域の福祉活動
7	少子化対策・子育て
8	企業誘致
9	雇用対策
10	水産業、水産加工業振興
11	農業振興
12	地産地消

改善分野

生活満足度、まちづくりの重要度ともに低い

13	道路等の騒音・振動
14	荒廃農地対策
15	子どもの遊び場
16	自然環境の保全
17	能力・適性に応じた学校教育
18	歴史・文化・芸術に親しむことのできる環境
19	青少年の健全育成
20	商店街振興
21	協働のまちづくり
22	市民がまちづくりに参加するための仕組みづくり

重点維持分野

生活満足度、まちづくりの重要度ともに高い

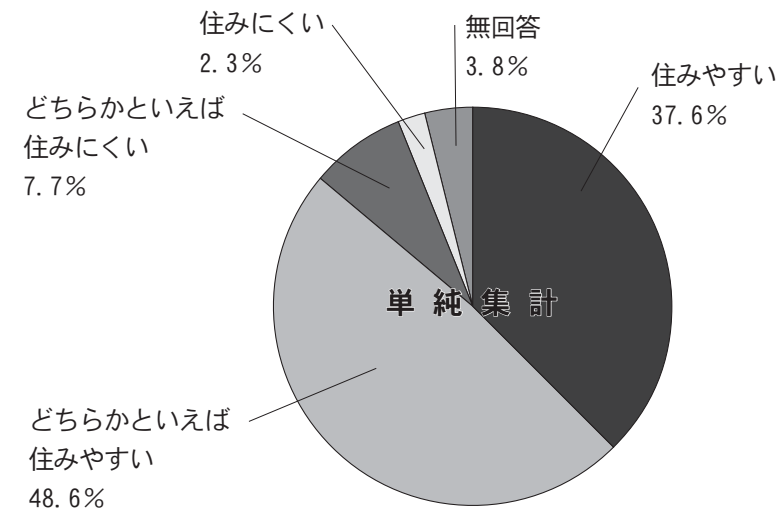
23	住宅地の環境
24	買い物等の利便性
25	工場等の騒音・悪臭
26	ごみ減量化・リサイクル
27	排水・下水道
28	防災組織・防災活動
29	消防・救急
30	防犯
31	交通安全意識の向上
32	健康診断や健康相談
33	観光客誘致

維持分野

生活満足度は高く、まちづくりの重要度は低い

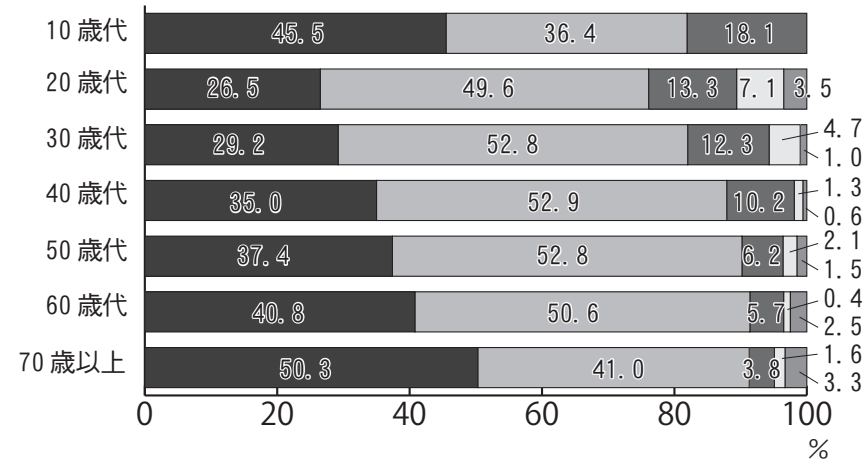
34	生活用道路
35	幹線道路
36	公共施設
37	人権意識の向上
38	市民の人権
39	男女共同参画社会
40	健康づくり
41	就学前教育
42	学校施設
43	生涯学習
44	公民館・図書館等の施設
45	スポーツに親しむことのできる環境
46	北東アジアとの経済交流促進
47	住民が主体となった地域活動
48	町内会活動・自治会活動
49	NPOなどの市民活動

▶境港市の住みやすさ◀

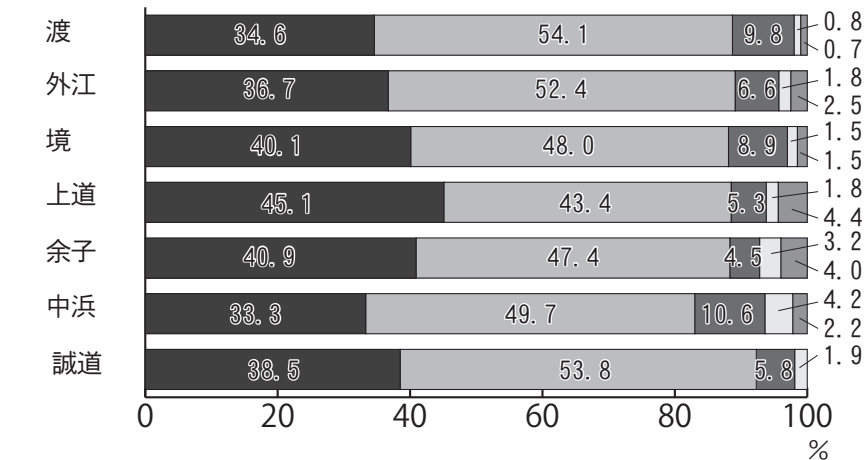


解説：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が86.2%と、多くの人が概ね住みやすいと感じています。

年齢別集計



居住地区別集計



■ 住みやすい ■ どちらかといえば住みやすい ■ どちらかといえば住みにくい ■ 無回答

この調査は、境港市の将来像やまちづくりの方向性などを定める総合計画の策定にあたり、その基礎資料とするため、市内在住の18歳以上の市民から無作為に2,000人を選び、本市の住みやすさをはじめ各施策の満足度や重要度などについて回答していただきました。今回は主な項目の調査結果をお知らせします。回答者数は1,033人、回収率は51.7%でした。

市民アンケート調査の結果をお知らせします

解説：

◇年齢別では、「60代」が「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人の割合が91.4%と最も高くなっています。

概ね年齢が高いほど「住みやすい」と感じている傾向にあります。

◇居住地区別では、誠道地区が「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人の割合が92.3%と最も高くなっています。

他の地区でも80～90%の人が「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と答えています。